



志小 安全・防災だより



R7.12.12発行
No.7

バックナンバーは本校のWeb ページ（QRコード）でご覧いただけます。







文責：安全・防災担当（須藤）

もしものときの安心のために

先日の「志小 安全・防災だより」でお伝えしたとおり、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されました。この1週間ほどは、普段より注意して過ごすことが呼び掛けられています。

学校ではこれまでの訓練を生かし、児童が落ち着いて行動できるよう指導を続けています。この土日も、もしものときの安心につながる“備え”を各御家庭でお願いできればと思います。また、正しい情報を選び取ることも大切です。具体的な日時を示して「地震が起きる」と予告するような情報を、政府が発表することはありません。不確かな情報を広めると、無用な混乱につながります。落ち着いて、信頼できる情報源を確認することをお願いいたします。さらに、災害への備えは大切ですが、必要以上の買いだめが広がると、地域の混乱につながります。冷静な行動が、地域全体の安心につながります。週末も「まずは身を守る」「あわてない」を合い言葉に、安全に過ごしていただければと思います。

各種QRコード（正しく知って事前の備えを）

					
南三陸町防災 ハザードマップ1	南三陸町防災 ハザードマップ2	気象庁 防災情報	気象庁 キキクル	北海道・三陸沖 後発巨大地震	日本気象協会 知る防災

熊対策の安全講話を行いました

朝晩の冷え込みが一段と強まり、季節の移り変わりを感じる頃となりました。例年この時期は、熊が冬ごもりの準備を始める時期ですが、今年はどうぐりなどの木の実が不作で、熊がえさを求めて人里へ近づきやすい状況が指摘されています。

そこで、子供たちの登下校や放課後の安全を守るため、先日、南三陸町農林水産課の方を外部講師としてお招きし、安全講話を行いました。講話では、

- 熊が出没しやすい時間帯や場所
- 音を出して自分の存在を知らせる工夫
- 熊を刺激しないための落ち着いた行動
- もし見かけた時の安全な距離の取り方や身の守り方 等

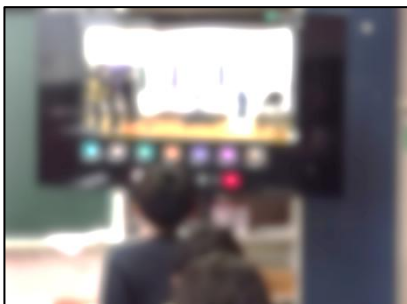
について、児童にも分かりやすくお話いただきました。

児童からは「どんな場所が危ないか分かった」「落ち着いて行動することが大切だと思った」などの声が聞かれ、身近な危険を自分事として考える良い機会となりました。

今後も学校・家庭・地域が連携しながら、子供たちが安心して過ごせる環境づくりを進めてまいります。引き続き、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



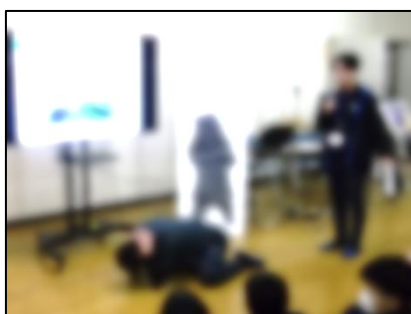
安全講話の様子（6年）



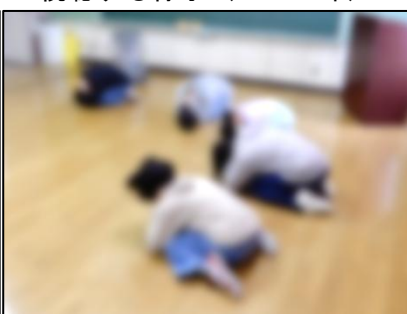
安全講話を各教室でオンライン
視聴する様子（1～5年）



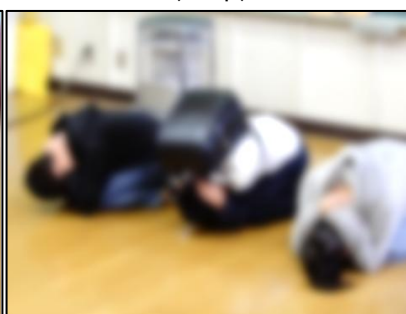
話を真剣に聞く子供たち
（6年）



身の守り方の演示



6年生による身の守り方の実演



ランドセルも有効とのこと

町教育委員会より
全校児童に熊鈴が
配布されました。
御確認ください！



記名して
ランドセル等に付けて
御利用ください。